



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

あなたの信じた とおりになるように

進学統括部長 牧島 勝利



言い古された言葉ですが、人生は山あり谷ありで、平坦と見える道にもデコボコがあります。急な坂であえいだり、時には足元の石につまずいて転びそうにもなります。そんな時に自分を支えてくれる杖があると助かります。難しい問題を前にして悩んだり、物事がうまくいかなくて落ち込んだりした時に、自分を支えてくれるような言葉を、私は「杖ことば」と呼んでいます。この言葉は、二十年も

前に友人が使っていたのを見て、それ以来、私も使わせてもらっています。この言葉はどうやら友人の造語だったようで、広辞苑にものっていない。自分を戒める格言を「座右の銘」と言いますが、「杖ことば」は、「座右の銘」とは違って分かりやすい言葉です。「杖ことば」は、親や先生から聞いた言葉であったり、友達との話の中で心に残った言葉かもしれない。誰もが多くの「杖ことば」を持っているはず。私はクリスチャンですから、私の価値基準は聖書にあります。私は聖書の中から両手に余るほどの「杖ことば」を持っています。その中で、よく私の

心をよぎる言葉が、冒頭の「あなたの信じたとおりになるように」です。この言葉は、聖書に書かれているもので、百人隊長がイエスのもとに来て、部下の中風(脳卒中)のいやしのために、「おことばを下さい。そうすれば私のしもべはなおりますから」と懇願したことに對するイエスの答で、聖書には次のように記されています。

イエスは百人隊長に言われた。「さあ行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」するとそのしもべはいやされた。
くマタイの福音書 八章十三節

「信じたとおりになる」と

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

いうことは真実です。物事はイメージの枠内ではか成就しません。ダメだと思えば、きつとダメでしょう。だから、どんな状況にあっても絶対に失望してはならないのです。

私は長年、進学指導に携わってきました。進学指導は実績が物言う世界です。だから、常に不安との戦いがあります。模試のデータなどが悪く、このままではダメなのではないか、という思いにとらわれると、悪いところばかりが目につき始めます。危機感を持つことも時には大切ですが、不安や恐れは事実を見誤らせ

教育的行動の一つに「ピグマリオン効果」があります。ピグマリオン効果は、教師期待効果とも呼ばれ、教師の期待によって学習者の成績が向上するといふものです。私の経験からも、生徒に対する教師

中学校行事予定

10月	24日(土) 雄飛祭(オープニング)
	25日(日) 雄飛祭(一般公開日)
	26日(月) 代休
	30日(金) 授業交換月①(の中学模)
11月	5日(木) 前理事長先生御命日
	6日(金) 秀文杯校内体育大会
	6日(金) 体育大会予備日
	7日(土) 日本語検定(三年)
	7日(土) ベネッセ学力推移調査
	10日(火)~11日(水) PTA学校開放日
	14日(土) ボランティア実践
	17日(火)~18日(水) 20日(金) 福祉施設体験(三年)
	19日(木) 芸術体験(文星芸大)
	28日(土) 第一回入学試験
12月	1日(火)~3日(木) 期末考査
	5日(土) 県立美術館見学(二年)
	19日(土) 第二回入学試験
	24日(木) 第二学期終業式

高校行事予定

10月	24日(土) 雄飛祭(オープニング)
	25日(日) 雄飛祭(一般公開日)
	26日(月) 代休
	30日(金) 進研模試(英二年)
	31日(土) 進研模試(英一・二年)
11月	2日(月) 進研模試(普一年)
	2日(月)~3日(火) 第三回共催模試(英三年)
	2日(月)~4日(水) 進研模試(普二年)
	5日(木) 前理事長先生御命日
	6日(金) 秀文杯校内体育大会
	6日(金) 体育大会予備日
	7日(土) 保護者懇談会(一年)
	9日(月) 第三回共催模試(普三年)
12月	1日(火)~4日(金) 期末考査
	5日(土)~6日(日) 全統センタープレテスト
	10日(木)~11日(金) 前期入試願書受付
	24日(木) 第二学期終業式

- 1 p <進学統括部長より>
- 2 p <雄飛祭に向けて・検定試験>
- 3 p <修学旅行・総合学習>
- 4 p <輝け!文星健児>
- 5 p <雄飛祭に来てください>
- 6 p <夏の学校行事から>
- 7 p <修学旅行・文星散歩道⑥>
- 8 p <第7回雄飛祭案内>

高等学校

生徒会から
こんにちは!



会長 宗土 北見 生徒会
(英進科三年)

皆さんこんにちは。今回は、雄飛祭直前号ということで、生徒会長の私が筆を執らせていただきます。

さて、本校の年間行事の華とも言える雄飛祭。毎年、生徒、保護者だけではなく、一般のお客様にもご好評をいただいております。今年度は、新型インフルエンザが猛威をふるって、何かと心配な状況が続いていますが、そのような逆境に負けるわけにはいきません。なぜなら、今年の雄飛祭のテーマは「獅子魂(ライオンソウル)」だからです。

このテーマは、本校の校是である「ライオン主義」から付けられたものです。数々のテーマ候補の中、実行委員による厳正な審査によって選ばれました。「ライオン主義」とは、「何事にも全力で取り組もう」という意味の言葉で、私達にも親しみ深い校是です。

雄飛祭の成功の鍵を握っているのは、言うまでもなく私たち生徒です。各クラス共に、雄飛祭の出し物について毎日のように夜遅くまで話し合いが行われています。この調子でいくと、本番はきっと今までにないような盛り上がりを見せられると思います。

自分達が「全力で」楽しむことはもちろんですが、雄飛祭に足を運んでくださる皆様方にも、「全力で」楽しんでいただけるような素晴らしいものを作りたいと思っています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

雄飛祭開催日時
10月25日(日)
9時~14時30分
(最終入場は14時まで)

◇ごみ箱係より

ごみ箱係です。今年のごみ箱はメッセイジ性の強いものになりました。とある人物をかたどった「かかし」を作り、その「かかし」にごみの分別を推進するメッセイジを託す予定です。

準備するごみ箱は数多く大変ですが、来場者の皆様に、きちんとごみの分別をしていただけるように、「獅子魂」でごみ箱を作ります。

当日はごみの分別にご協力いただけますよう、是非ともよろしく願います。

◇パンフ・ポスター係より
パンフレット・ポスター係です。今年度のポスターのデザインは、美術デザインコース一年生の辻正朗君が、今年のテーマ「獅子魂」からイメージして描いたものです。今回は手描きのポスターなので、去年までのCGとは違った、味わいのあるポスターに仕上がりました。パンフレットも、手描きのポスターに合わせて手作り感を出すように仕上げました。

先日、実行委員の生徒たちで手分けをしてポスター掲示を学校外の各施設へ依頼に行き、学校周辺にもポスターを掲示しました。

雄飛祭になるべく多くの人にきていただけるよう、宣伝活動をしています。



「何人くらい来てくれるかな」

◇ゲート係より
ゲート係では、今年の雄飛祭のテーマ「獅子魂(ライオンソウル)」にちなんで、二匹のライオンをモチーフにしたゲートを制作しています。

ゲートは、正門に置かれ、来場者以外にも多くの人たちの目に触れるものですので、より多くの人々に雄飛祭に興味を持っていただけるような、豪華で存在感のあるものに仕上げたいと考えています。

勉強やスポーツに勇猛果敢に取り組む本校の生徒の姿を百獣の王ライオンで表現しようと、実行委員の生徒たちは連日のように放課後に集まり、どうすればライオンの力強さや躍動感を出せるかを話し合いながら、ゲート完成を目指して奮闘しています。



ライオンの頭部を制作中

◇ステージ係より
野外ステージでは、例年以上の盛り上がりとなるように、和太鼓部、生徒バンド、教員バンドが、当日のライブに向けて日々練習を重ねています。

一般公開日の時間いっぱい、大空の下で若き獅子たちの雄叫びを是非お楽しみください。

場所・特設野外ステージ(体育館前 入場無料)
※屋外のため、悪天候の際は係の判断で中止とさせていただきます。

◇食催係より
今年度の雄飛祭は、新型インフルエンザ対策として、屋外のテントでの生徒による調理食催の販売を中止し、教室内の販売となります。試作を繰り返し、アイデアを出し合って工夫された食催となっております。

衛生面では、安全に食品が提供されるよう、衛生管理、手指のアルコール消毒などのご協力をよろしくお願いいたします。

検定試験取得状況
(九月末現在)

第四一回全商情報処理検定
【三級】
小林紫紀 磯 正人 齋藤和廣

前嶋 瞭 鈴木義也 鈴木将太
鈴木 亮 橋本拓也
第九三回全経電卓検定
【二級】
磯 正人 横山直諒 渡辺 武至

【三級】
潮田 祐二 川上 陽平 岩本雄生
野尻 昌宏 高松 佑平

第七七回日本情報処理検定
【表計算二級】
雨宮 涼太 大塩 啓太 小林 紫紀
鈴木 久義 高山 大樹 田崎 正一
中川 陽介 最上 祐也

平成二十一年度第一回
日本漢字能力検定
【二級】
大竹 広之 小森 貴博 横松 郁昭

【準二級】
堤 貴寛 瀬尾 昂 角南 嘉一
仁平 航 中山 京介 先崎 凌麻
齋藤 集 本田 卓也 高瀬 智大
鈴木 康平 小林 勇樹 川中 子貴紀
池野 裕太 倉橋 直志

【三級】
和氣 広夢 田村 祐輔 神部 恒貴
加藤 直樹 田村 侑弥 中村 道
武田 有人 高橋 勇樹 篠崎 裕太
北村 亮磨 橋本 拓也 成田 聖哉
齋藤 大輔 小峰 拓馬 日下 克野

第一六九回実用数学技能検定
【準二級】
黒崎 晃寛 新本 拳太 佐藤 祐己

【三級】
高橋 勇樹 富田 祥平 小林 勇樹
猪俣 貴之 先崎 凌麻 中山 京介
柳岡 郁夫

第二九回食物調理技術検定
【三級】
五十二名

アーク溶接特別教習修了者
四十六名

修学旅行

2009.09.15 ~ 09.18



二年生二二六名は、九月十五日からの四日間、沖繩への修学旅行に行つて参りました。生徒達は体調を崩すこともなく、楽しい思い出を作ることができたようです。以下は紀行文の一部抜粋です。

二年二組 橋本 拓弥

今、振り返ると沖繩での三泊四日はとても濃密なものでした。沖繩という地で、様々な風を肌で感じ、心身共に成長できた気がします。(略)二日目、沖繩はとても蒸し暑く、風は生暖かかった気がします。僕はシーサーの色付けをしました。二つで一对のシーサー。一つの緑色のシーサーを丁寧に塗っているうちに時間がなくなり、二つ目のシーサーは若干、雑になってしまいました、少し後悔しています。その日の午後に美ら海水族館へ行きました。水族館の中の大水槽にはとても感動しました。

この修学旅行で感じた風は、僕に色々な影響を与えてくれたと思います。戦争の悲惨さ、自然の豊かさ、海の壮大さを感じた沖繩の地に、いつか、成長し新しい自

分になって、また訪れたいです。

二年三組 櫻井 洋介

今でも鮮明に思い出されるのが、ジンベイザメとのダイビングだ。ダイビングをする前は、サメに襲われるのではないかとびくびくしていた。だが、一度海へ入ってみると、おびえた気持ちは全部吹き飛んでしまった。驚くほど澄んだ海にジンベイザメをはじめ、様々な魚が人間など気にも留めず優雅に泳いでいた。実際のジンベイザメはとても頼もしく見えた。

ジンベイザメと一緒に泳いだことは生涯忘れられない良い経験になった。またいつかジンベイザメに会いに行きたいと思う。

二年四組 橋本 真英

平和祈念公園から資料館、ひめゆりの塔資料館へ立ち寄った。戦争とは平和ボケした私が本当に理解できるものではないのかもしれない。激戦地となった地域では老若男女問わず全ての人々が死と直面する。年端もいかぬ少年少女でさえだ。パプロピカソの『ゲルニ

カ』が頭にふと浮かんだ。身体が震えた。一体彼らは何を感じ、死に、生き長らえたのだろうか。

二年四組 福富 飛翼

僕は、今回の修学旅行を通じてとても貴重な体験をすることができた。特に、日本人として絶対に忘れてはいけない第二次世界大戦、太平洋戦争について、沖繩でどのような歴史があるのかを学べたことは、大変有意義な事である。平和祈念公園やひめゆり平和祈念資料館は、戦争がいかに恐ろしく、残酷なものであるかを僕たちに教えてくれた。不発弾一つを取ってみても、あれほど大きい爆弾が飛び交っていたと考えると背筋がぞつとする思いである。

ひめゆりの塔では、戦争で亡くなった女学生や先生方の遺影が展示されていて、一人ひとりのプロフィールと最期の様子が詳しく記されており、ここでは本当に心が痛くなった。戦争というのは、今まで僕の中では教科書に載っている文字に過ぎなかった。その恐怖や悲惨さ、人の命の大切さを漠然とし知らなかった。しかし今回の修学旅行で、僕には、何か今までは遠

った明確なものが生まれた。

総合学習

◇アーク溶接講習

夏季特活期間中、二年生の自動車整備コースでは、アーク溶接講習が三日間(七月十八日・十九日・二十日)行われました。

一日目は安全教育(座学)、二・三日目は三名の講師のもと、三七〇℃で溶接する実技を受講者四十六名一人ひとりが行いました。

この講習により、自動車などの溶接作業ができるようになります。

◇西洋料理・製パン実習

九月十一日(金)・十五日(火)の両日、文星短大にて、三年生調理選択者五十九名は、西洋料理(カジキマグロとナスのモツツアレラチーズ焼き)と製パン(あんパン、



コーンパン、コロケパン)の実習に参加しました。

西洋料理では井上静男先生、製パンでは井上謙先生のご指導のもと、普段の授業とは違う雰囲気での授業が進められました。

生徒は初めて触れるパン生地の手触りに驚き、西洋料理の華やかさとおいしさに感動する、充実した体験実習でした。

◇カヤック実習

九月九日(水)、普通科総合コース三年生スポーツ選択者十一名は那須烏山市谷浅見を流れる那珂川にて、カヤック実習を行いました。

参加生徒は皆、自然を満喫しながら、ルールやマナーを守り真剣に取り組んでいました。川の流れに逆らってカヤックを扱うのに苦戦していました。時間が経つにつれ徐々にスムーズに扱えるようになりました。

また、講師の先生の指導のもと、川の中心から岸に向かつて泳ぐ実習も行いました。生徒は「必死に泳いでいるのに岸に辿り着けない」「川をなめていた」など、自然の怖さも体験できました。

カヤック実習を終えて、「楽しかった」「卒業しても

やってみたい」「次は川から海へ挑戦したい」という声があり、充実した実習となりました。



◇会社見学

六月二十五日(木)、総合ビジネス科二年生五十二名が、食品製造業の現場を学ぶ一環として、「野菜」を加工している食品会社、「株式会社アキモ」へ会社見学に行きました。

始めに、会社概要、商品説明を受け、施設見学では、クリーンルーム(無菌室)を設備し、衛生的な環境に万全を期した工場で、原料の処理から、加工・袋詰・殺菌まで、製品に至る工程を見学させて頂きました。

工場の厳重な衛生管理の取組みを学ぶことができ、貴重な体験となりました。

輝け!! 文星健児 部活動報告

夏期特別活動期間から十月にかけて県内各地で行われた大会やコンクールの主な結果を紹介します。

※(英) 英進科

(進) 普通科進学コース
(総) 普通科総合コース

硬式野球部

秋季県大会を制覇!!

関東大会へ
秋季県高校野球選手権大会準決勝戦(対足工大戦)では、接戦の末、見事2年連続の関東大会出場を決めた文星ナイン。翌日の十月四日(日)には、決勝戦が行われ、本校と矢板中央が雌雄を決した。

攻撃では、中山匠選手(総二年)の本塁打を始め打線が大爆発。守備では、相手の反撃を3点に抑え、見事県大会連覇を果たした。

十月三十一日(土)から千葉県で開催される関東大会でも、「最後まで諦めない全力プレー」で、選抜甲子園大会出場の切符を手にとることができるよう、健闘を祈りたい。



県大会二連覇を支えた文星打線(打者 中山選手)

《準決勝》

本校	200	002	003	7
足工大	301	100	100	6

《決勝》

本校	100	130	400	9
足中央	000	002	001	3

新潟国体

九月二十六日(土)から新潟県で開催された第64回国民体育大会「トキめき新潟国体」に、本校から柔道部の阿久津智洋選手(総三年)、剣道部の岡村亮平選手(進二年)、卓球部の澤島雅孝選手(総一年)が出場し、さらに柔道成年男子の監督として新井隆義先生(保健体育科)が参加された。各選手とも、県代表としての意地を存分に見せつけた。

《国体の結果》

卓球 (少年の部)

九月二十七日(日)から三十日(水)にかけて行われた団体戦に、本校の澤島選手が出場。一、二回戦で順調に白星を飾り、ベスト16入りに貢献した。

《団体》

一回戦	3-1	鹿児島
二回戦	3-0	鳥取
三回戦	1-3	岐阜
準決勝	1-3	岐阜

柔道 (少年の部)

十月三日(土)に行われた団体戦に、本校の阿久津選手

手が副将で出場。二回戦に優勢勝ちを収め、準々決勝進出を決めた。

《団体》

二回戦	2-1	秋田
準々決勝	0-2	新潟

《ベスト8》

剣道 (少年の部)

十月三日(土)に行われた団体戦に本校の岡村選手は先鋒として出場。一回戦で鮮やかな一本勝ちを収め、勝利に拍車を掛けた。

《団体》

一回戦	3-2	岩手
二回戦	0-5	新潟

卓球部

県ジュニア選手権

本校勢3人が全国へ

九月十九日(土)、鹿沼フォレストアリーナで行われた県ジュニア卓球選手権大会に、本校卓球部が出場した。全日本卓球選手権大会出場を懸けた今大会。トーナメント決勝戦で本校の堀光希選手(総二年)は昨年大会3位の藤田選手(作新学院)と対戦した。相手に雪辱を果たされる形となったが、堂々の準優勝に輝いた。

また、澤島雅孝選手(総一年)が3位入賞を決め、掘選手とともに、見事本選出場を果たした。

来年一月に開催される全日本卓球選手権大会での、両選手の活躍を期待したい。

バスケットボール部

一年生大会準優勝

八月十八日(金)から二十日(日)にかけて各会場で行われた平成二十一年度県バスケットボール協会長杯争奪高校一年生大会に、本校バスケットボール部が出場した。

順調にトーナメントを勝ち進んだ本校は、決勝戦で宿敵宇都宮工業と対戦。後半に追い上げを見せるも、悔しい準優勝となった。

《決勝》

本校	96	14
宇都宮	31 32 19	32
宇都宮	25 20 37	32
合計	124	124

将棋同好会

小倉君県大会制覇!!

関東大会へ

九月十九日(土)、二十日(日)に開催された第20回関東地区高文連将棋選手権大会県予選に、本校将棋同好会の三名が出場した。

本校の小倉一富史君(英一年)は決勝戦で亀和田君(宇都宮商)と対戦。落ち着いた戦いぶりで見事優勝を決め、十二月に栃木県教育会館で開催される関東大会への出場権を獲得した。

関東の舞台でも自分を信じ、最後まで粘り強く戦い抜くことを期待したい。

音楽部

コンクール銀賞

八月八日(土)、宇都宮市文化会館大ホールにおいて開催された第51回県吹奏楽コンクール高校D部門に、本校音楽部が出場した。

本校音楽部は演奏曲「ジャラン・ジャラン」神々の島の幻影」の力強い演奏で見事銀賞に輝いた。

インターアクト部

杉並木清掃活動

七月十八日(土)、日光市で行われた「日光杉並木街道クリーン作戦」に、本校インターアクト部が参加した。天然記念物である日光杉並木街道(日光市小倉町)森友の旧街道)の清掃活動を行うこのイベントは、今年で12回目を迎える。本校インターアクト部員も他の参加者と共に、額に汗しながら清掃活動に専念した。

八月三十日(日)に開催された第57回全日本剣道選手権大会県予選会に本校の富田健作先生(保健体育科)が出場し、見事優勝された。

富田先生全国大会へ

十一月三日(火)に日本武道館で開催される全日本大会においても、県代表、そして文星の代表として、ご健闘をお祈りします。

一日体験

(中学生対象)

八月二十一日、二十三日の2日間、中学生を対象とした一日体験学習が行われ、2日間で中学生七百二十名、保護者二百二十二名が来校しました。

2日間とも天候に恵まれ、中学生は各科に分かれ、体験授業に参加しました。模擬授業では、高校や大学の入試問題を題材とした国数英の授業、体験学習では、実際の授業を体験してもらいました。普段とは違った高校の授業に戸惑いながらも、すぐに慣れた様子で、意欲的に参加する中学生の姿が印象的でした。

また、当日は在校生も校内の案内や各実習のデモンストレーションなどの各方面で、未来の後輩のサポートを手伝ってくれました。多数の新生生の入学に期待したいものです。



「キミは文星で輝く」

中 学 校

雄 飛 祭

最高の雄飛祭を 生徒会長

三年一組 森下 雅俊

今年の雄飛祭のテーマは「獅子魂(ライオンソウル)」です。このテーマは文星男児にとってもふさわしいテーマだと思えます。私たちはこのテーマをもとに、雄飛祭に向けて企画や出し物を各学年とも、クラス一丸となつて準備しています。

二、三年生は昨年の企画を上回るものを計画し、一年生は初めての雄飛祭なので新鮮なアイデアで素晴らしい企画を立てています。学年の垣根を越え共に協力して、素晴らしい学校祭が出来るように頑張っています。

雄飛祭は、生徒一人ひとりが主役です。雄飛祭に来校いただいた人たちに、心から楽しんでもらえるものにしたと思っています。雄飛祭が最高のものになるように、獅子魂で精一杯頑張りますので、ぜひ中学校の校舎にも足を運んでください。

クラス企画紹介

一年生

「文☆堂」

僕たちのクラスでは、六月頃から雄飛祭について話し合ってきました。初めての学校祭ということで、張り切つてテーマや内容を決めました。

店名は「文☆堂」と言います。とても簡単な店名ですが、ちゃんと意味があります。「☆」は、夏の星空をイメージしたものです。「堂」は、有名なゲーム会社からとりました。肝心の内容については、ボードゲームでの対局などで、僕たちが作った大きな人生ゲームなどを企画しています。トーナメント戦やリーグ戦も行います。豪華景品も準備していますので、ぜひご来場ください。

二年生

「It's science world」

僕たちのクラスは、ロウソク作りと過冷却の実験をやります。

ロウソク作りは、色を混ぜて色鮮やかなロウソクを作ります。このロウソク

ク作りは、いつでもやっていますので、ぜひ、自分だけのオリジナルのロウソクを作りに来てください。

過冷却の実験は、水が一瞬にして氷に変わるところを見ることが出来ます。とても感動的です。本当に一瞬なので見逃さないでください。この実験は、午前十一時と午後二時の二回実施する予定です。自然の不思議さを体験しに来てください。

三年生

「ヴォーリーを探せ」

「ヴォーリーを探せ」をやっていたできます。内容はあの有名な「ヴォーリー」を探索」と同系統のもので、内容はシンプルですが奥が深い。何はともあれ、ぜひ挑戦してみてください。

また、ページョマ体験も行います。僕たちも悪戦苦闘、放課後にみんな猛特訓し、やっと回せるようになりました。たかが昔の遊びだろうとあなどっている貴方。一度やってみてください。たちまちあなたもページョマの虜。手取り、足取り、親切に、回し方を説明いたします。さあ、君も一緒にページョマをやってみよう。

スポーツフェスティバル

試合結果

- 【優勝】二年生チーム
- 【準優勝】一年生チーム
- 【第三位】三年生保護者チーム
- 【第四位】一年生保護者チーム
- 【第五位】三年生チーム
- 【第六位】二年生保護者チーム



三年生チーム

一日体験学習

九月十二日(土)と十月三日(土)に、小学校六年生と保護者の方を対象とした一日体験学習が開かれました。保護者の方には、中学校全体の説明を聴いて頂き、児童の皆さんには、英語での校舎案内の後、数学と理科の授業を体験してもらいました。

数学・理科の授業ともに、とても楽しく理解しやすい内容であったようで、「また授業を受けたい」といった声も上がる程、有意義な体験となったようです。

部活動大会結果

《新人宇河地区大会》

- バドミントン 甲賀 優希 七位入賞 (県大会進出)
- 剣道 横山 圭介(二年)
- 佐々木 裕(二年)
- ソフトテニス (団体) 対鬼怒中 一回戦敗退 (個人)
- 赤澤(二年)・赤上(二年)
- 菊地(二年)・野澤(二年)
- 佐藤(二年)・齋藤(二年)
- 卓球 (シングルス) 島田 慧(二年)
- 根本 諭(二年)
- (ダブルス) 島田・根本
- バスケットボール 対宇大附中 一回戦敗退
- 将棋 《文部科学大臣杯小中將棋 団体戦東日本大会》 七月二十三日(木) 予選リーグ 東金市立北中(千葉)
- 金沢市立紫錦台中(石川)
- ふじみ野市立大井中(埼玉)
- 右の三校と対戦し、二勝一敗で惜しくも予選敗退。



一年生チーム

サマーキャンプ

一年生は、七月二十七日(月)から二十九日(水)の二泊三日で、福島県のレジーナの森にてサマーキャンプを行いました。

大自然の中での様々な体験を通して、生徒間の絆が深まり、新たな自己発見ができたように思います。また、地球環境問題を考えるよい契機となったはずです。三日間のそれぞれの思い出を紹介します。

生徒の感想

「二日目の出来事」

四番 佐藤 森吾
今日から夏休み最大のイベント、サマーキャンプが始まりました。

現地に到着してすぐにテントを張りました。それからマウンテンバイクに乗りました。乗り心地は悪く、慣れるのに苦労しました。慣れないうちに、ものすごい砂利と坂道を走行することになり、最後は汗だくになってゴールしました。

次に、楽しみな夕飯を作りました。調理したのは鶏肉・人参・玉ねぎ・ジャガイ

モでした。出来上がった料理は、宿泊学習の時よりも数段よくできました。その後は、お風呂に入り、テントで就寝しました。

「楽しかったカヌー教室」

十二番 北條 泰崇
今日はルーアーフイッシング・カヌー教室・ニジマス掴み体験などをしました。

ルアーフイッシングは、大きな湖だったのに、全然釣れませんでした。

カヌー教室では、水をかけあって遊んだり、どちらが速く漕ぐことができるか競争したりして、とても楽しかったです。

ニジマス掴みは、とてもニジマスがぬるぬるしていて掴み辛かったです。このニジマスはバーベキューの時に食べました。とてもおいしかったです。



カヌー教室

「サマーキャンプに参加して」

三番 斉藤 浩介

今思えばとても長い三日間でした。一日目は、開校式・テント張り・自然散策・サイクリング・野外調理。二日目は、デイスクゴルフ・釣り・カヌー教室・ニジマス掴み取り・バーベキューなど、とても楽しい行事がありました。最終日に行った自然観察では雨が降っており、少し残念でしたが、とても楽しかったです。

この三日間、とても充実したキャンプとなりました。レジーナの森の講師の先生には深く感謝したいです。普段の学校生活からは学べない様々なことを学ぶことができて良かったです。



テントサイトにて全員集合

イングリッシュキャンプ

二年生は、七月二十九日(水)から三十一日(金)までの二泊三日、那須甲子少年自然の家にて、イングリッシュキャンプに参加してきました。

三日間、朝から晩まで英語だけで生活する中、様々な活動を通して、普段の生活では学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。

生徒の感想

「イングリッシュキャンプに行くって」

十一番 野澤 優太郎

僕たち二年生は、七月二十九日から三十一日の二泊三日で、イングリッシュキャンプに行ってきました。

僕はこのキャンプをとても楽しみにしていました。なぜなら、外国の人達と一緒に生活する機会は滅多にないことだし、英語を使って生活してみたいと思っていました。

那須甲子少年自然の家に到着してすぐに、ホールで開校式がありました。ここでは、外国の先生達が歓迎の歌を歌ってくれました。僕は、日本人以外の人の歌

を生で聞いたことがなかった。日本人とは違う迫力を感じました。

いろいろなことがあって、あつという間に三日間が過ぎてしまいました。最後の別れの時は、寝食を共に過ごしてきた先生達と別れるのが辛かったです。

このイングリッシュキャンプで、言葉が通じ合わなくとも、相手に伝えたいという気持ちを持って接すれば、ジェスチャーなどを使って、コミュニケーションをとることが十分できることを学びました。また、外国の人達はとてもユーモアがあり、人を楽しませることが日本人よりも優れているように感じました。

「イングリッシュキャンプに参加して」

十四番 原田 佑一

僕は、イングリッシュキャンプに参加して楽しかったことが二つあります。

一つ目は、キャンプスキットです。キャンプスキットとは、グループ毎に日米の日常生活・学校生活・映画のワンシーンなどから、英語の寸劇を外国人の先生と一緒に作るというものです。

英語で劇を作るのはとても

難しいことでしたが、みんなで試行錯誤を重ねてとてもよいストーリーの劇を作ることができました。大変でしたが、とても勉強になりました。

二つ目は、キャンプファイヤーです。みんなで唄を歌ったり、踊ったりしました。そこで振舞われた焼きマシマロの味は格別で、忘れられません。今まで、焼きマシマロを食べたことはありませんでしたが、今回は焼きマシマロをクッキーに

挟んで食べました。普段の時に食べても十分おいしいと思います。キャンプファイヤーの中で食べたせいか、さらにおいしく感じられました。

イングリッシュキャンプでは、良い思い出をたくさん作ることができました。今回学んだことを今後に生かしていきたいです。



外国人の先生達と一緒に

ライオンソウル
第7回 雄飛祭 テーマ『獅子魂』

10/24(土)・10/25(日)

一般公開 9:00~14:30(最終入場14:00)

※駐車場は用意しておりませんので公共の交通機関でご来場下さい。



テーマ獅子魂(ライオンソウル)

2009.
10.24 土
25 日

日曜のみ 9:00 ▶ 14:30
 一般公開 | 最終入場14:00

制作者コメント



テーマ「獅子魂」からイメージし、このような作品になりました。

ライオンの顔には苦労しましたが、自分のイメージ通りに出来たと思います。

先輩方のポスターを拝見しましたが、今回は手書きの良さを多くの方に感じてもらえたらと思っています。

文星芸術大学附属中学校 高等学校

〒320-0865 栃木県宇都宮市曙町1-4 TEL.028-636-8585 FAX.028-633-2321 <http://www.bunsei-art.ac.jp> E-mail:info@bunsei-art.ac.jp

ポスターデザイン/美術デザインコース 1年11組 辻 正朗